

令和2年度 学校関係者評価委員会(令和3年2月13日)

学校アンケート結果による分析・改善に向けての提言

【学校関係者評価委員会】 ◎委員長

◎稻田 正克：地域、元目黒区立小学校校長
菱刈 晃夫：学識経験者、国士館大学教授
二川 早苗：元保護者、地域、日本家庭教育学会副理事長
元世田谷区立小学校 P T A連合協議会長
松原 信行：同窓会会长 元保護者、元P T A会長
石綿 陽子：元保護者、元P T A役員
吉良 雅彦 元保護者、前P T A会長
毛受 直子：新B O P事務局長
大賀 幸子：P T A副会長

本委員会は学校関係者評価の結果に基づき、以下の点で桜丘小学校へ提言します。

＜学校教育目標についての分析・提言＞

1 「よく考える子」〈知育〉 ものごとをよく考え、向上しようとする子ども に関連した項目

【学習指導】

2 「豊かな心をもった子」〈徳育〉 思いやりのある優しい子ども に関連した項目

【生活指導・あいさつ】

3 「健康な子」〈体育〉 体を丈夫にし、明るい心をもつ子ども に関連した項目

＜各項目についての分析・提言＞

4 学校行事について

5 さくらの学び舎について

6 情報提供について

7 安全面について

8 学校運営について

9 地域との連携について

10 キャリア教育について

11 教職員について

12 終わりに

1、アンケート実施日

① 児童 令和2年11月25日

② 保護者 令和2年11月18日から30日

③ 地域 令和2年11月16日から25日

2、実施・回収の方法・回収率

① 児童 教室で実施・回収（全児童）

② 保護者 各家庭で実施・特製封筒に入れ、担任を通じ回収 回収率98%

③ 地域 学校協議会委員の方々へ郵送し、郵送で回収 回収率59%

1 教育目標 よく考える子〈知育〉ものごとをよく考え、向上しようとする子ども に関連した項目

【学習指導】

〈保護者〉

1 学習指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 本校は、授業の内容を意欲的に学ぶために工夫している。	24	59	83	7	1	10
(2) 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	21	53	74	8	2	17
(3) 本校は、子どもの話し合いや発表などの機会がある。	33	54	87	6	1	7
(4) 本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	19	39	58	16	5	21

〈児童〉

1 学習指導について	A	B	A+B	C	D	E
センセイ ジュギョウナニヨウ イヨクテキ マナ クフウ (1) 先生は、授業の内容を意欲的に学ぶために工夫している。	64	28	92	4	1	4
センセイ コクバン カ カタ クフウ (2) 先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	63	28	91	5	1	3
ジュギョウ ハナ ア ハッピョウ ア キカイ (3) 授業では、話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。	59	30	90	5	1	3
センセイ エイゾウ タブレット クフウ ワ ジュギョウ (4) 先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	63	26	88	6	2	4

〈学校関係者評価委員による提言〉

「授業の内容を意欲的に学ぶ工夫をしている」、「子どもの話し合いや発表などの機会がある」は児童、保護者ともに高評価になっている。しかし、「黒板の書き方やプリントなどを工夫している」「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」については保護者の評価が低く、また「分からない」という回答が多い。

今年度は、保護者の方に公開する機会が少なかったことにも起因していると感じるが、学校から教育活動の様子について細やかな情報発信が必要である。

今年度から、タブレット端末の配布等急激に加速したICT関連の教育に関して工夫した授業、活用状況等を学校からの通信、学校ホームページ等でも積極的に紹介している。来年度は学校公開で全学級、ぜひ紹介してもらいたい。また、日頃の授業において、子どもの印象に残る授業、子どもが家庭で伝えたくなるような授業の実践を行うことで、保護者にも伝わっていくと考えるので先生方には、授業力の向上を目指していただきたい。

また、タブレット端末等を活用した学校と家庭が連携した学習も今後さらに進めていくとよいと考える。インターネット等を使う上でのモラル教育、また、視力の低下等も考え方対応いただきたい。

2 重点 教育目標「豊かな心をもった子」〈德育〉思いやりのある優しい子ども

【生活指導面】

〈保護者〉

2 生活指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 本校は、学校のルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	23	55	78	10	2	10
(2) 本校は、教員が指導したルールについて子どもが理解している。	24	60	84	7	1	8

11 学校独自項目 【保護者】

11 学校独自項目 【保護者】	A	B	A+B	C	D	E
(1) 私の子どもは、よくあいさつをしている。	31	56	87	10	2	2
(2) 私も子どもたちに、よくあいさつをしている。	35	59	94	5	1	1
(3) 私の子どもは、自分と友達を大切にしている。	46	50	96	2	0	2
(4) 私の子どもは、よく外遊びや運動をしている。	29	40	69	24	6	1
(5) 私は、子どもに「早寝、早起き、朝ご飯」を努めさせている。	42	47	89	9	2	0
(6) 私は、子どもに、安全に気を付けて生活をさせている。	53	45	98	2	0	0

〈児童〉

2 生活指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1) わたしは、学校のルールについて考えて行動している。 ガッコウ カンガ コウドウ	45	43	87	9	1	3
(2) 先生は、学校のルールをわたしたちに考えさせて指導している。 センセイ ガッコウ カンガ シドウ	65	27	92	4	1	3
(3) わたしは、先生が指導したルールについて理解できる。 センセイ シドウ リカイ	61	30	91	5	2	2
7 学校独自項目 【児童】	A	B	A+B	C	D	E
(1) わたしは、学校の中で、先生や主事さんなどにすすんであいさつをしている。 ガッコウ ナカ センセイ シュージ	60	28	88	8	2	2
(2) わたしは、学校の外で、知っている人にすすんであいさつをしている。 ガッコウ ソト シ ヒト	54	29	84	10	4	3
(3) わたしは、自分と友達を大切にしている。 ジブン トモダチ タイセツ	76	19	95	2	1	2
(4) わたしは、外で元気よく遊んでいる。 ソト ゲンキ アソ	68	18	86	7	4	1
(5) わたしは、「早寝、早起き、朝ご飯」ができている。 ハヤネ ハヤオ アサ ハン	45	32	77	14	5	3

〈地域〉

1 生活指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	52	48	100	0	0	0
7 学校独自項目 【地域の方】	A	B	A+B	C	D	E
(1) 子どもたちは、よくあいさつをしている。	50	36	86	9	0	5
(2) 私も子どもたちに、よくあいさつをしている。	36	36	72	23	0	5

〈学校関係者評価委員による提言〉

○生活のルールについて

「花の子スタンダード」等の徹底が図られ、児童の評価は高い。また、感染症対策としてのルールの徹底同時に行われたことによるものと考える。保護者の2（1）評価から、ただルールを指導するだけでなく、考えさせることの必要性を鑑み、学校においてこのような指導を期待する。更に、タブレット端末の配布に伴いタブレット端末の使い方のルールやモラル教育も合わせて指導を行っていただきたい。使用のルールの指導も行っていただきたい。また、学校と家庭での生活のルール等の情報共有が必要である。

○あいさつ、自分や友達を大切にする、について

- ・ 7（3）「自分と友達を大切にしている」について、児童、保護者とも高評価である。家庭での保護者の接し方、学校での教職員の日頃の接し方、道徳、人権教育の取り組み等の成果であると考える。このような意識をもって生活している児童が素晴らしい。
- ・ あいさつについては、児童、保護者、地域とも高評価である。これまでの挨拶に対する基本姿勢の定着と、今年度の「あいさつ名人」という児童に浸透しやすく具体的な取り組みにより向上できたと考える。また、各学年のあいさつ宣言、あいさつ運動も継続して行うことができており、児童の意識の向上を図っていることも成果である。今後は、朝だけに限らず、日常的に会った教職員、来客の方等に丁寧な挨拶ができる児童の育成を目指していただきたい。また、教職員には引き続き、児童の手本として校舎内の誰に対しても積極的に挨拶を行っていただきたい。

3 教育目標 健康な子〈体育〉体を丈夫にし、明るい心をもつ子ども に関する項目

〈保護者〉

(4) 私の子どもは、よく外遊びや運動をしている。	29	40	69	24	6	1
(5) 私は、子どもに「早寝、早起き、朝ご飯」を努めさせている。	42	47	89	9	2	0
(5) 子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	21	55	76	16	4	4

〈児童〉

(4) わたしは、外で元気よく遊んでいる。 ソト ゲンキ アソ	68	18	86	7	4	1
(5) わたしは、「早寝、早起き、朝ご飯」ができている。 ハヤネ ハヤオ アサ ハン	45	32	77	14	5	3
(4) 私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。 ワタシ タイリョクコウジョウケンコウ セイカツ ト ク	53	30	83	10	3	3

〈学校関係者評価委員による提言〉

- ・外遊びについては、学校では休み時間よく遊んでいるが、家庭では屋内で遊んだり、習い事等で遊ぶ時間が少なくなったりすることがある。来年度は、学校公開等で外遊びをしている姿を保護者に見ていただくことも必要である。
- また、今年度は、感染症対策として外出の制限や休み時間も学年ごと分散して遊んでいたことから全体的に全身を使って遊ぶ時間が少なかった。このことから、学校での外遊びの意義と機会を大切にしていく必要がある。
- ・外で遊ぶ機会が少なくなったことだけに原因があるとは言えないが、公園や私有地での遊び方があまりよくなかったとの報告を受けている。改善に向けて、保護者と情報共有を図ったり、先生方が計画的に校外や地域を見回ったりすることで校外での過ごし方を把握していただきたい。

4 学校行事について

〈保護者〉

3 学校行事（運動会、花の子作品展、花の子発表会など）について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校行事は、子どもにとって楽しい。	57	36	93	4	1	2
(2) 学校行事は、子どもにとって達成感がある。	56	35	91	5	2	2
(3) 本校は、子どもの意欲を大切にしている。	44	45	89	4	2	4

〈児童〉

3 学校行事（運動会、花の子作品展、花の子発表会など）について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校行事は、楽しい。 ガッコデヨウジ タノ	72	18	90	6	3	1
(2) 学校行事は、達成感がある。 ガッコデヨウジ タッセイカン	63	27	90	6	2	1
(3) 先生は、わたしたちのやる気を大切にした指導をしている。 センセイ キ タイセツ シドウ	60	30	89	4	2	5

〈地域〉

2 学校行事（運動会、花の子作品展、花の子発表会など）について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校行事の内容は、充実している。	59	36	95	0	0	5
(2) 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	36	50	86	14	0	0

〈学校関係者評価委員による提言〉

児童、保護者ともに高評価である。感染症対策を講じながらできることを実行していただけたことに感謝したい。今後も安全に配慮し、可能な範囲で子どもたちの思い出に残る活動を行っていただきたい。来年度も今年度の取り組みを生かし、学習の成果が發揮できる行事になるよう計画することが課題である。

5 さくらの学び舎について

〈保護者〉

(2) 「学び舎」の区立（幼稚園・）中学校について情報が提供されている。	11	40	51	24	6	18
--------------------------------------	----	----	----	----	---	----

(4) 本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	10	40	50	20	5	25
--	----	----	----	----	---	----

〈児童〉

サクラ まちあか ガッコウカン ジョウホウテイキョウ (3) 桜丘中学校に関する情報が提供されている。	16	21	37	15	10	37
--	----	----	----	----	----	----

マナ ヤ サ克拉 まちあか ガッコウ コウリュウ (3) 「さくらの学び舎」の桜丘中学校との交流がある。	15	19	34	13	12	40
---	----	----	----	----	----	----

〈地域〉

(4) 「さくらの学び舎」の活動について、情報が提供されている。	36	36	72	18	9	0
----------------------------------	----	----	----	----	---	---

〈学校関係者評価委員による提言〉

- ・例年、全体的に評価が低い。「せたがや11+」の幼・小・中の連携の推進のために、どのように取り組んでいくのか、大きな課題である。今年度は、感染症対策で交流が難しい中、学び舎の教員に向けて中学校での全学級の授業公開を行ったことは成果である。
- ・まず、「せたがや11+」の取り組みはどのようにになっているのか。次年度の具体的な方策を知りたい。学び舎の取組として、教職員の取り組みだけに限らず、子どもたちの交流に関しても来年度の計画を立て、担当教員も明らかにして、学び舎の活動について情報の提供をお願いしたい。
幼・小・中の連携の推進に更に、お願いしたい。

6 情報提供について

〈保護者〉

7 学校からの情報提供について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 本校は、学校だより・学年だよりなどで、保護者に情報を提供している。	41	55	96	3	1	1
(2) 「学び舎」の区立（幼稚園・）中学校について情報が提供されている。	11	40	51	24	6	18
(3) 本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	27	57	84	10	2	3
(4) 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	31	59	90	6	2	2

〈地域〉

3 学校からの情報提供について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がよくわかる。	68	27	95	5	0	0
(2) 学校公開や道徳授業地区公開講座（※1）などで、学校の様子がよくわかる。	36	36	72	14	0	14
(3) 学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	38	43	81	14	0	5
(4) 「さくらの学び舎」の活動について、情報が提供されている。	36	36	72	18	9	0

〈学校関係者評価委員による提言〉

学校だより、ホームページなどの情報提供に関する評価が上がっており、内容が充実した結果である。学校側から、今年度は、保護者・地域の方の来校できる機会が少ない分、学校の様子を伝えようと学校情報を積極的に発信したことが成果である。今後はさらにホームページ等で見てもらえるよう声掛けを継続してもらいたい。

道徳授業地区公開講座での紙面報告の内容はとても充実していた。この紙面報告配布時が本アンケート後であったため、評価が低く出ていると考えられる。キャリア教育なども紙面報告の配布を行うことによって学校教育をより理解してもらう機会とする。

7 安全面について

〈保護者〉

9 安全性について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	33	59	92	3	1	3
(2) 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	39	57	96	2	0	2
(3) 本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	32	58	90	5	1	4
(6) 私は、子どもに、安全に気を付けて生活をさせている。	53	45	98	2	0	0

〈児童〉

アンゼン キ ツ セイカツ (6) わたしは、安全に気を付けて生活をしている。(交通ルールを守る、危ないことをしないなど)	アブ 71	22	94	4	1	1
--	----------	----	----	---	---	---

〈地域〉

5 学校の安全性について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	64	36	100	0	0	0
(2) 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	41	50	91	9	0	0
(3) 子どもたちは、安全に気を付けて生活をしている。(交通ルールを守る、危ないことをしないなど)	アブ 36	59	95	0	0	5

〈学校関係者評価委員による提言〉

安全面は保護者、地域、児童とも高評価である。

緊急時の対応についてのマニュアルを家庭や地域へ配布しており、安全の周知ができたことや、感染症対策の面でも安全・安心な取り組みができたことが成果である。

今後も子どもたちの安全を第一に交通に関することや放課後の過ごし方など、保護者への情報提供を継続してもらいたい。

また、今後も命を大切にすることを第一に、安全に関する指導を充実してもらいたい。

8 学校運営について

〈保護者〉

10 学校運営について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校の重点目標が明確である。	25	53	78	10	2	10
(2) 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	26	54	80	6	2	12
(1) 本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	46	46	92	5	1	3
(3) 本校の教育活動に満足している。	23	58	81	12	2	5

〈児童〉

ガッコウセイカツ タノ (1) 学校生活が楽しい。	アブ 70	20	90	6	2	2
------------------------------	----------	----	----	---	---	---

〈地域〉

6 学校運営について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 学校の重点目標が明確である。	59	27	86	9	0	5
(2) 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応をしている。	50	32	82	9	0	9

〈学校関係者評価委員による提言〉

保護者の「学校の重点目標が明確である。」の項目で評価があまり高くなく、分からぬという回答が比較的多い。今年度は、年度当初の保護者会においての校長からの説明ができなかつたことにも原因があると考えるが、来年度は、さらに重点目標を明確に伝え、学校と家庭と地域が連携し共に児童を育てていくという姿勢に努めてもらいたい。

“校長がかわれば学校が変わる”という言葉がある。今後も校長として子どもたちのためになる力を発揮していただきたい。

9 地域との連携について

〈保護者〉

8 地域との連携について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	17	49	66	12	2	21
(2) 本校は、地域の活動などに協力的である。	16	47	63	12	2	23
(3) 本校は、地域に情報を提供している。	15	49	64	9	2	24

〈地域〉

4 地域との連携について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 地域の人や施設を教育活動に活かしている。	46	41	87	9	5	0
(2) 学校協議会や合同学校協議会がよく役割を果たしている。	32	41	73	10	10	10
(3) 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	32	41	73	14	5	10
(4) 私は、桜丘小学校の教育活動に、協力していきたい。	73	27	100	0	0	0

〈学校関係者評価委員による提言〉

- ・保護者の評価が60%台と評価が低い。また、「分からない」という評価が多い。今年度は、保護者や地域の方に来校いただく機会が少なかったことに原因はあると考える。学校では、10月より地域の方をゲストティーチャーとしてお呼びしたり、Zoomを使ってインタビューに答えてもらったりすることはできた。今後も、これらの実践したことを、ホームページや学年だより等で周知していただきたい。
- ・学校運営委員会等の活動の周知が必要である。学校運営委員会の記録を便りとして発出しているので継続していただきたい。学校支援コーディネーターやおやじの会の活動についてはホームページ等である程度の周知はできていると感じている。
- ・地域の方からは学校に協力したいという高評価をいただいた。今後も、さらに地域の人材を活用した授業展開を行っていただきたい。

10 キャリア教育について

〈保護者〉

4 キャリア教育について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	23	51	74	10	2	14
(2) 本校では、子どもの生き方や将来のことについて考える授業がある。	15	41	56	17	3	25

〈児童〉

4 キャリア教育について	A	B	A+B	C	D	E
モクヒョウ ジツゲン ム ドリョク (1) 目標をもち、その実現に向けて努力している。	49	38	87	7	2	4
ジブン イ カタ ショウライ カンガ ジュギョウ (2) 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	42	36	78	9	4	8

〈学校関係者評価委員による提言〉

- ・児童は、比較的評価が高いといえる。保護者は評価が低く、分からないという回答が多い。本項目は、今年度より世田谷区教育委員会の方針である「せたがや11+」の重点として「キャリア教育」があるため設けられている。まだ、周知が不十分で、分かりにくい部分が多いのではないか。この教育は、どの場面で、どのような力を育てていくのか保護者の方に伝わるよう学校公開等で授業を通して伝えてほしい。先生方には、実践を積み重ね、児童にとって自己の成長や、よさを実感し、自己肯定感をもつ子に育てていただきたい。

11 教職員について

〈保護者〉

5 教職員について	A	B	A+B	C	D	E
(1) 本校は、ていねいに指導している。	33	54	87	5	1	7
(2) 本校は、子どものことを相談しやすい。	32	50	82	11	2	6

〈児童〉

5 先生のことについて	A	B	A+B	C	D	E
(1) 先生たちは、ていねいに指導してくれる。	72	22	93	4	1	2
(2) 先生たちに相談できる。	58	26	83	8	4	5

〈学校関係者評価委員による提言〉

- ・来校時には教職員から気持ちが良い挨拶をいただいている。家庭では親の笑顔が子どもたちにとっての元気の源である。
- ・よりよい教育活動を行うためには、地域や保護者の協力や支援を求めるのも時代の流れである。
- ・児童も保護者も丁寧な指導についてある程度の高評価である。今後も、研修会等を充実させ、授業力向上を目指して取り組んでいただきたい。
- ・「先生たちに相談できる」について、さらなる評価の向上を望む。また、相談の窓口は、担任以外にもあることを児童、保護者に同時に周知することが必要である。さらに、毎月の学校生活アンケートも相談の窓口であることを引き続き周知し、児童が安心して相談できる環境を作っていただきたい。

12 終わりに…

今年度は、コロナ感染症対策で、保護者・地域の方が学校を訪れる機会が少なくなっている中、いかに情報を発信するかということが、重要になったと感じます。来年度は、学校の教育活動がどのように行われているか有効的に数多くの情報を発信し、機会があれば学校公開等でポイントを絞って（ICT 関連、キャリア教育等）授業を公開することが必要です。

また、保護者は児童の声を通じて、自分の子どもが何を学んだか、何が身についたかを知ってほしいと思います。そのためには、丁寧な指導と印象に残る（家庭で学校の話がしたくなる）活動を今後も続けていただきたいと思います。

「せたがや11+」や、コロナ感染症対策等の新しい課題がある中ですが、ぜひ乗り切っていただきたいです。

最後になりましたが、平松有理子校長先生はじめ、教職員の皆様には、子どもたちを見守り、日々の熱心で丁寧なご指導にご尽力いただき感謝いたします。